

transport logistic China 2018

ファイナルレポート

国際ロジスティクス・テレマティクス・輸送専門見本市

2018年5月16日～18日

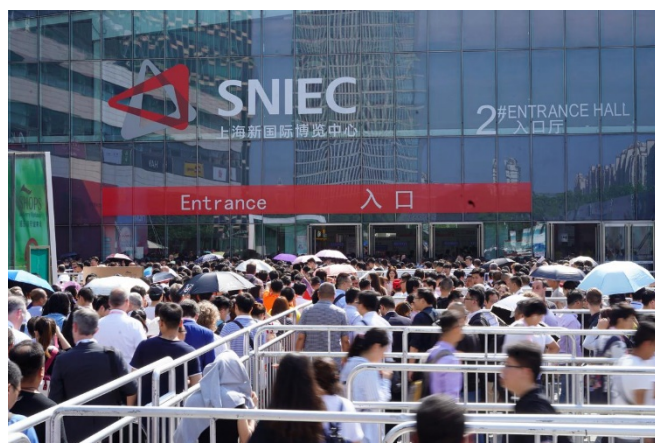
中国・上海新国際見本市会場

2018年5月18日

transport logistic China 2018: デジタル化、新シルクロードに向け出帆

Summary

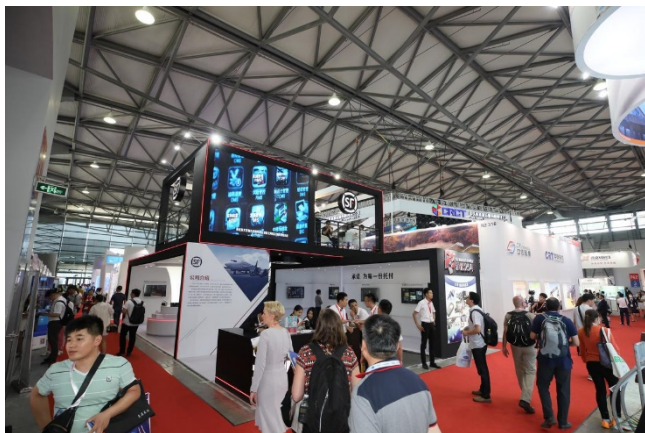
- 出展 667 社、来場 26,300 人強
- デジタル化と「一帯一路(シルクロード構想)」が新たな機会を創出
- 注目の話題に触れた 40 を超える会議プログラム



Facts & Data

会期	2018年5月16日(火)～18日(木) 9時～17時
会場	中国・上海新国際見本市会場(SNIEC)
主催	Messe Muenchen GmbH -メッセ・ミュンヘン Messe Muenchen Shanghai Co.,Ltd.-メッセ・ミュンヘン上海
規模	約 44,000 m ²
出展社数	65ヶ国から 667 社(2016年度:48ヶ国から 602 社)
来場者数	67ヶ国から 26,300 人以上(2016年度:65ヶ国から約 22,000 人)
主な出展品	各種ロジスティクスシステム(通信・データ処理、e ビジネス、輸送・統合交通管理、港湾・航行、航空貨物、パイプライン輸送・送電)、輸送包装、保管・運搬・配送・積卸設備・施設、道路・鉄道・海上・複合輸送、コールドチェーンマネジメント、廃棄物処理ロジスティクス、河川・海・空港、航空会社、速達・小包・宅配サービス、倉庫・荷役・積み替え、AdBlue 技術、通関、研究開発、業界団体・媒体 など
併催プログラム	Air Cargo China Forum、Port & Shipping Logistics Forum、fresh logistics Asia Forum、Integration of Supply Chain Resources Forum など
出展日本企業(現法出展など含む)	(株)海事プレス社、(株)寺岡精工、(株)マキテック ほか
専用 URL	www.transportlogistic-china.com (英語、中国語) www.aircargochina.com (英語、中国語)

2018年5月16日から18日まで中国・上海で開催された transport logistic China 2018 では、ロジスティクス 4.0 と新シルクロード構想の話題で持ちきりだった。世界中からの出展企業はもちろん、ドイツ、チェコ共和国、イタリア、スペイン、ラトビア、マレーシア、リトアニアからの公式パビリオンもまた、自国の製品やサービスについて発表した。



8回目となる transport logistic China は、アジアの物流、モビリティ、IT およびサプライチェーン・マネジメントのためのトップ見本市としての評判に、再び、見事に応えた。「この見本市の継続的な成長には、中国の物流市場における最先端技術と革新的ソリューションに対する巨大な需要が反映されている。transport logistic China は、意思決定者が直接対話し、ビジネスを拡大するための効率的かつ実用的なプラットフォームであるとともに、物流業界の高度な発展を強く促進している」と、メッセ・ミュンヘン運営委員会のメンバーであるメゲーアハルト・ゲリッツェンは述べた。

「出展社が非常に多かったので少し驚いた。当社はたくさんの海外来場者に接することができたが、それは見本市の影響そのものだ」と、YTO Express Group 社の副社長、Feng Xiang 氏は話した。

最注目トピックはデジタル化

すべての参加者が、中国が最速でデジタル化を進めていることに同意した。同国はすでにこの分野で主導的役割を果たしており、その成長は「Made in China 2025」戦略によって加速されている。設備、ソフトウェア、システムインテグレーション、意思決定アシスタントなどの観点において、インテリジェント・ロジスティクスは新興企業のコアコンピタンスとなってきた。

様々な技術ロジスティクス企業のブランド広報のニーズを満たすだけでなく、業界の相互作用を強化するために、transport logistic China はインテリジェントな物流製品のディスプレイと技術通信のためのオフライン・プラットフォームとして、新たな「インテリジェント・ロジスティクス・パビリオン」を立ち上げた。「今年は、Tongji 大学のサプライチェーン・マネジメントの学生と「Think-A-Thon」を始めた。ブロックチェーンテクノロジーが国際サプライチェーンに大変革をもたらす可能性がある。transport logistic China のチームは、このプロジェクトを実現する上で大きな助けとなった」と Jettainer 社マーケティング & PR 責任者 Martin Kraemer 氏は述べた。

2 番目に注目を集めた話題は新シルクロード構想

予定投資額が 1 兆ユーロに達したことを受け、中国の巨大プロジェクト「新シルクロード構想」は、transport logistic China 2018 でも顕著に見られるほど物流の世界にある種の高揚感をもたらした。Schenker China 社 CEO の Thomas Lindy Sorensen 氏は次のように述べた。「当社はメッセ・ミュンヘンで 40 年以上の経験を持ち、現在 transport logistic China に参加したのは 4 回目だ。当社にとって、transport logistic 見本市は最新情報を把握し、ビジネスチャンスを開くことができる重要なイベントだ」。



「当社は、ここで世界のトップ企業を多く見た。それは transport logistic China がまさに国際的に一流のオープン・プラットフォームであることを示している。ロジスティック産業におけるその影響と認知度は、大幅に改善されてきた」と、Sinotrans 社の取締役執行役員 Yun Xin 氏は付け加えた。

依然として強い需要

65 の国と地域から 667 社が出展し、67 を超える国と地域から 26,300 人以上の来場者が訪れたことから、この地域で経済的関心が高まっていることが分かる。さらに、中国交通運輸協会 (CCTA) との協力を通じて、transport logistic China の規模や注目度も大幅に改善した。

transport logistic China に不可欠な見本市として、air cargo China が再び、航空貨物産業全体を一つの場所に集結させる。大手企業の展示に加え、air Cargo フォーラムでは、ブロックチェーン技術、IoT 技術、および航空貨物コミュニティに関する重要かつ新たなテーマを探究した。

一方、併催の「PeriLog (腐敗しやすい物流) – fresh logistics Asia」は、生鮮食品サプライヤー向けにフロントエンドの調達、品質管理、倉庫と冷凍、冷間輸送と販売、調理済み食品加工などのワンストップソリューションを提供した。

注目の話題に触れる会議プログラム

transport logistic China は、今年 40 を超えるイベントを開催し、新しい業界の動向を把握するための重要なコミュニケーション・プラットフォームとなっている。これらは、スマートロジスティクス、ブロックチェーン、小売サプライチェーン、ロジスティクス 4.0、化学品物流、都市への生鮮食品物流、冷凍物流、航空貨物、新シルクロード、複合 (一貫) および製造物流など、物流業界全域をカバーした。

「見本市と会議の統合というのも素晴らしいアイデアだ。当社は多くの関連フォーラムに参加し、そこから多くを得ることができた」と、青島港国際物流有限公司のビジネス部マネージャーである Peng Cao 氏は締めくくった。



次回の transport logistic China は 2020 年 6 月 16 日から 18 日にかけて中国・上海にて開催される。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページ: www.transportlogistic-china.com で

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)